Ｔ３、Ｔ３Ｈ対応ユニラインインターフェース

ＵＷ３１１ 取扱説明書

V-1.4

本製品を安全に正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよく
お読みになり、内容を理解された上でご使用ください。
また本取扱説明書を大切に保管され保守、点検時にご活用ください。

ＮＫＥ株式会社

EUW311-800E

ご注意

■　本書の内容に関しましては将来予告なしに変更することがあります。

■　本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

■　本書の内容に関しまして誤りや記載もれなどお気付きの点がございましたら、お手数ですが弊社までお知らせください。

はじめに

このたびは本システム機器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくためにこのマニュアルをよくお読みください。
また、あわせて弊社作成のテクニカルマニュアルもお読みください。

安全にまた正しくお使いいただくために
⚠ 注意

- 本製品は必ず仕様範囲内でお使いください。仕様は６ページに記載してあります。
- 配線作業を行うときは必ず電源を切ってください。
- 本システムのDC24V電源はＰＬＣ側の電源投入後通電してください。切るときはDC24V電源を先に切ってください。本システムが誤動作を起こす場合があります。
- 本システム機器と接続する電源はDC24V安定化電源をご使用ください。
- 伝送ライン（Ｄ、Ｇライン）や入出力ラインは高圧線や動力線と離してご使用ください。
- 伝送路１系統につき１本のキャブタイヤケーブルを割り当ててご使用ください。複数の系統を多芯ケーブルでまとめて送信するとクロストークにより機器が誤動作します。
- 誤配線はトラブルの原因となります。接続用端子の信号表示にあわせて接続してください。
- 伝送ラインの総延長は200mです。センサターミナルやパワーターミナルに接続されるセンサやランプ、コイルなどの消費電力が大きい場合電源ラインの電圧降下が大きくなり機器が誤動作することがあります。このような場合には分散配置されたターミナルで24Vとなるよう電源を分散配置してください。
- 本インターフェースに接続できるターミナルは20ユニットまでです。
- 静電気や衝撃などに十分注意してお取り扱いください。
- コネクタピン端子部には触れないでください。触れると腐蝕の原因となり接触不良を起こします。
- 伝送データをコードとして扱われる場合には本システムの伝送方式上次のような問題がありますのでご注意くださいますようお願いいたします。

  出力の場合、出力ターミナル側では若い番号側から約35μSec毎に出力されてきますので出力ターミナルを介してデータの授受を行う場合、相手方が読み込むタイミングによっては正しいデータを読み込めない場合があります。この場合は、データより後の番号をストローブ信号としてデータの授受を行ってください。

  入力の場合、UW311側では１バイト単位でデータを更新していますが、二重照合をバイト単位ではなくビット毎に行っておりますので、厳密にはバイト単位のデータ保証はできません。

製品改良のためお断りなく仕様などを変更する場合がありますのでご了承ください。

保証について

● 保証期間

納入品の保証期間はご注文主のご指定場所に納入後１ヶ年とします。

● 保証範囲

上記保証期間中に本取扱説明書に従った製品使用範囲内の正常な使用状態で故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行います。

ただし、次に該当する場合はこの保証の範囲から除外させていただきます。

(1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。

(2) 故障の原因が納入者以外の事由による場合。

(3) 納入者以外の改造または修理による場合。

(4) その他、天災、災害等で納入者の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

● 有償修理

保証期間後の調査および修理は全て有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障の修理および故障の原因調査（保証範囲の場合を除く）は有償にてお受け致します。修理に関するご依頼はお買い上げの販売店にお申しつけください。

● 部品のご注文、お問い合わせ

製品の故障、部品のご注文、その他お問い合わせの節は、次の事項をお買い上げの販売店まで詳しくご連絡ください。

(1) 型式

(2) 製造ロット番号

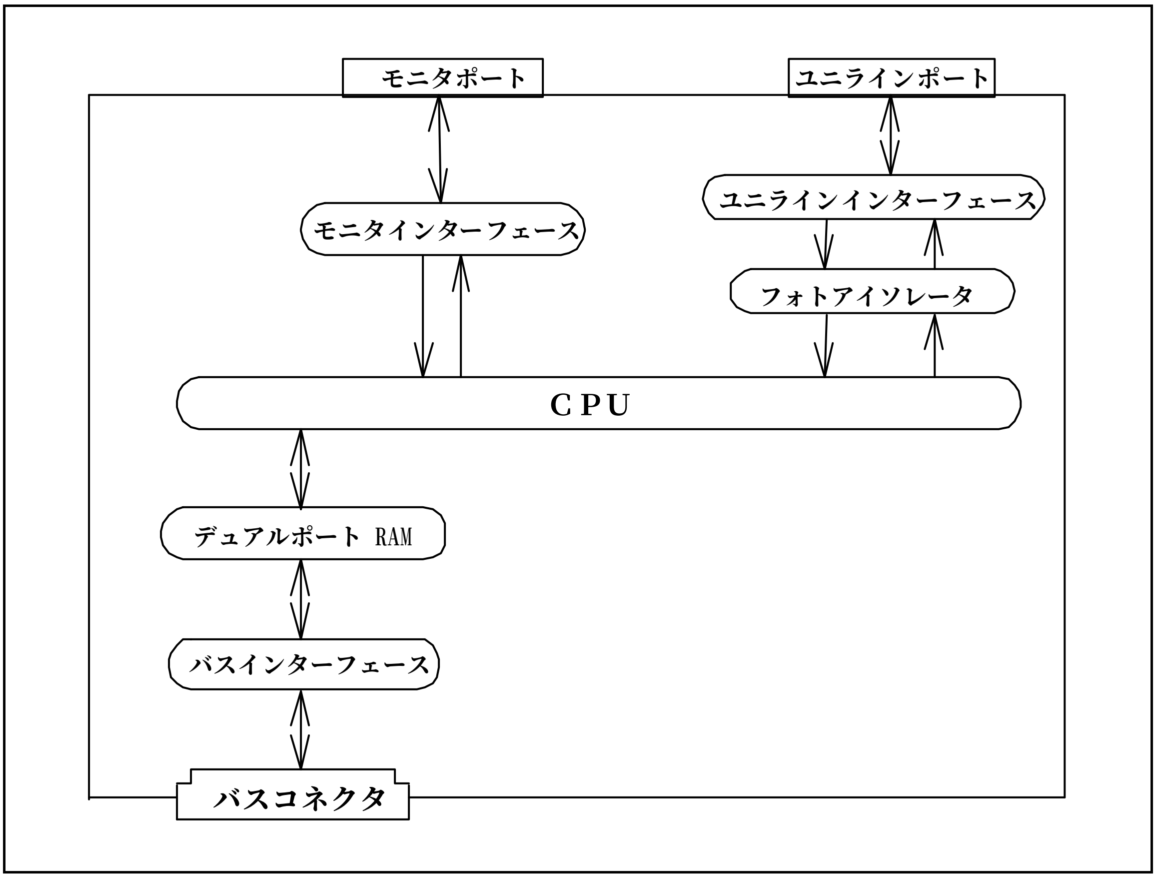
(3) 不具合の内容、配線図等

目　次

１ 特　長

㈱東芝製ＰＬＣ　Ｔ３、Ｔ３Ｈで使用できます。
１スロットで１２８点の入出力ができます。
入力、出力、入出力混合モードが選択できます。
シリアル伝送のための特別なプログラムは不要です。
ユニラインの豊富なターミナルが使えます。

２ 内部構成



３ 仕様

一般仕様

使用周囲温度	０℃～＋５５℃
保存温度	－２０℃～＋７５℃
使用湿度	２０％～９０％ＲＨ（結露なきこと）
保存湿度	５％～９５％ＲＨ（結露なきこと）
耐振動	JIS C 0040に準拠
耐衝撃	JIS C 0912に準拠
耐ノイズ性	ﾉｲｽﾞｼﾐｭﾚｰﾀ　ﾉｲｽﾞ電圧1000Vpp　ﾊﾟﾙｽ幅１uS（24V電源）
雰囲気	腐食性ガスや可燃性ガスなきこと

性能仕様

Ｉ／Ｏ点数	128点（I/Oの組み合わせ 128/0,112/16,96/32,80/48,64/64,48/80,32/96,16/112,0/128,64/0,48/16,32/32,16/48,0/64）ロータリーディップスイッチにより入出力モードを選択する
Ｉ／Ｏ占有点数	8W、4W、2W （動作モードにより異なる）
ユニラインポート	１ポート（２０アドレス Ｍａｘ．）
伝送方式	双方向時分割多重伝送方式
伝送手順	ユニラインプロトコル
伝送距離	総延長　２００ｍ
リフレッシュタイム	１２８点の時　5.1ms Max.（モニタ接続時5.6ms Max.） ６４点の時　2.8ms Max.（モニタ接続時3.3ms Max.）
電源	+5V±5% 0.2A（Ｔ３側から供給） +24V +15%,-10%　リップル 0.5Ｖp-p以下　電流 0.2A（ターミナルと負荷の電流は含まず）
モニタ	ＲＭ－１２０によりＩ／Ｏの状態がモニタできる
その他	伝送線Ｄ－Ｇ間、Ｄ－Ｐ間の短絡検知、保護 伝送線の断線検知 上記異常状態をエラーフラグによりＴ３側で監視可能 上記異常状態をＬＥＤにより表示

＜注１＞１２０シリーズのターミナルが接続できます。
　　　　３０シリーズは接続できません。

４ 動作モードについて

パネル面のロータリーディップスイッチ(MODEスイッチ)により動作モードを設定します。
入出力混合の場合は入力が先になります。
ロータリーディップスイッチを**０～８**に設定すると入出力合計**１２８**点で動作します。
ロータリーディップスイッチを**９～Ｆ**に設定すると入出力合計**６４**点で動作します。
伝送遅れ時間を少なくしたい場合は６４点モードでご使用ください。

ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁの設定	動作モード	PLC側ﾜｰﾄﾞｱﾄﾞﾚｽ		ﾕﾆﾗｲﾝｱﾄﾞﾚｽ		種別
		入力	出力	入力	出力	
0	128点入力	0～7	－	0～127	－	X 8W
1	112点入力／16点出力	0～6	7	0～111	112～127	X+Y 2W
2	96点入力／32点出力	0～5	6～7	0～95	96～127	X+Y 2W
3	80点入力／48点出力	0～4	5～7	0～79	80～127	X+Y 2W
4	64点入力／64点出力	0～3	4～7	0～63	64～127	X+Y 8W
5	48点入力／80点出力	0～2	3～7	0～47	48～127	X+Y 2W
6	32点入力／96点出力	0～1	2～7	0～31	32～127	X+Y 2W
7	16点入力／112点出力	0	1～7	0～15	16～127	X+Y 2W
8	128点出力	－	0～7	－	0～127	Y 8W
9	64点入力	0～3	－	0～63	－	X 4W
A	48点入力／16点出力	0～2	3	0～47	48～63	X+Y 2W
B	32点入力／32点出力	0～1	2～3	0～31	32～63	X+Y 4W
C	16点入力／48点出力	0	1～3	0～15	16～63	X+Y 2W
D	64点出力	－	0～3	－	0～63	Y 4W
E	64点出力	－	0～3	－	0～63	Y 4W
F	64点出力	－	0～3	－	0～63	Y 4W

ＵＷ３１１の種別について
上の表において
X 8W、X+Y 8W、Y 8W、X 4W、X+Y 4W、Y 4Wは入出力デバイスまたはレジスタ扱いとなり
通常の入出力モジュールと同様にプログラムしてください。

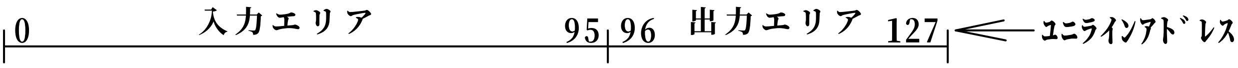
Ｘ＋Ｙ ２Ｗは特殊モジュール用データ出力命令または入力命令により入出力を行います。

ユニラインのアドレス番号とレジスタまたはワードデータとの対応は次のようになります。

ﾜｰﾄﾞｱﾄﾞﾚｽ	ｂｉｔ Ｎｏ．（1ワード）															
	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
0	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
1	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
2	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
3	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48
4	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64
5	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80
6	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96
7	127	126	125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112

<例１>ロータリーディップスイッチを２（96点入力／32点出力）に設定した場合

ワードアドレス０～５が入力エリア、ワードアドレス６～７が出力エリアとなります。



この場合入力ターミナルのアドレスは０～９５の範囲に、出力ターミナルは９６～１２７の範囲にアドレスを設定してお使いください。

<例２>ロータリーディップスイッチをＢ（32点入力／32点出力）に設定した場合

スロット０に装着したと仮定して、入力レジスタXW000、XW001が入力エリア、出力レジスタYW002､YW003が出力エリアとなります。



この場合入力ターミナルのアドレスは０～３１の範囲に、出力ターミナルは３２～６３の範囲にアドレスを設定してお使いください。

５プログラムについて

> 以下の説明中の命令語の詳細につきましてはＴシリーズ命令語説明書をご参照ください。

ＵＷ３１１は動作モードによりプログラムの仕方が変わります。

動作モード	プログラム方法
128点入力（X 8W）	入出力デバイスまたはレジスタ扱いとなり通常の入出力モジュールと同様にプログラムしてください。
64点入力／64点出力 （X+Y 8W）	
128点出力（Y 8W）	
64点入力（X 4W）	
32点入力／32点出力 （X+Y 4W）	
64点出力（Y 4W）	
その他の組み合わせ （**X+Y 2W**）	**特殊モジュール用データ出力命令または入力命令により入出力を行います。**

5.1 X+Y 2Wモードで使用する場合

特殊モジュールデータ入力（ＲＥＡＤ FUN237）命令、および特殊モジュールデータ出力（ＷＲＩＴＥ FUN238）命令を使用し、ユニラインの入出力を内部リレーに対応させるプログラム例を示します。

例として次のようなモジュール構成の場合とします。

スロット№	PU	0	1	2	3
電源	T3 CPU	UW 311			

この場合UW311のレジスタ割り付けはＸＷ０００、ＹＷ００１となります。

ユニライン側のアドレスとT3側のアドレスの対応表

T3側のアドレス	ユニライン側のアドレス	T3側のアドレス	ユニライン側のアドレス
Ｒ００００ ↓ Ｒ０００Ｆ	０ ↓ １５	Ｒ００４０ ↓ Ｒ００４Ｆ	６４ ↓ ７９
Ｒ００１０ ↓ Ｒ００１Ｆ	１６ ↓ ３１	Ｒ００５０ ↓ Ｒ００５Ｆ	８０ ↓ ９５
Ｒ００２０ ↓ Ｒ００２Ｆ	３２ ↓ ４７	Ｒ００６０ ↓ Ｒ００６Ｆ	９６ ↓ １１１
Ｒ００３０ ↓ Ｒ００３Ｆ	４８ ↓ ６３	Ｒ００７０ ↓ Ｒ００７Ｆ	１１２ ↓ １２７

1) ロータリーディップスイッチの設定が１（112点入力／16点出力）の場合

R0000～R006F ――――　入力

R0070～R007F ――――　出力

```
├─[ 00000  MOV  RW008 ]─[ 00007  MOV  RW009 ]─[ XW000  READ  RW008 → RW000 ]─┤
     └───ワードアドレス        └───データ転送数  転送元先頭レジスタ 転送パラメータ 転送先先頭
                                                                              レジスタ
├─[ 00007  MOV  RW008 ]─[ 00001  MOV  RW009 ]─[ RW007  WRITE  RW008 → YW001 ]─┤
     └───ワードアドレス        └───データ転送数  転送元先頭レジスタ 転送パラメータ 転送先先頭
                                                                              レジスタ
```

2) ロータリーディップスイッチの設定が２（96点入力／32点出力）の場合

R0000～R005F ――――　入力

R0060～R007F ――――　出力

```
├─[ 00000  MOV  RW008 ]─[ 00006  MOV  RW009 ]─[ XW000  READ  RW008 → RW000 ]─┤
├─[ 00006  MOV  RW008 ]─[ 00002  MOV  RW009 ]─[ RW006  WRITE  RW008 → YW001 ]─┤
```

3) ロータリーディップスイッチの設定が３（80点入力／48点出力）の場合

R0000～R004F ――――　入力

R0050～R007F ――――　出力

```
├─[ 00000  MOV  RW008 ]─[ 00005  MOV  RW009 ]─[ XW000  READ  RW008 → RW000 ]─┤
├─[ 00005  MOV  RW008 ]─[ 00003  MOV  RW009 ]─[ RW005  WRITE  RW008 → YW001 ]─┤
```

4) ロータリーディップスイッチの設定が５（48点入力／80点出力）の場合

R0000～R002F ――――　入力

R0030～R007F ――――　出力

```
├─[ 00000  MOV  RW008 ]─[ 00003  MOV  RW009 ]─[ XW000  READ  RW008 → RW000 ]─┤
├─[ 00003  MOV  RW008 ]─[ 00005  MOV  RW009 ]─[ RW003  WRITE  RW008 → YW001 ]─┤
```

5) ロータリーディップスイッチの設定が６（32点入力／96点出力）の場合

R0000～R001F ――――　入力

R0020～R007F ――――　出力

```
├─[ 00000  MOV  RW008 ]─[ 00002  MOV  RW009 ]─[ XW000  READ  RW008 → RW000 ]─┤
├─[ 00002  MOV  RW008 ]─[ 00006  MOV  RW009 ]─[ RW002  WRITE  RW008 → YW001 ]─┤
```

6) ロータリーディップスイッチの設定が７（16点入力／112点出力）の場合

R0000～R000F ―――― 入力

R0010～R007F ―――― 出力

```
┝━[ 00000 MOV RW008 ]━[ 00001 MOV RW009 ]━[ XW000 READ RW008 → RW000 ]━┥
┝━[ 00001 MOV RW008 ]━[ 00007 MOV RW009 ]━[ RW001 WRITE RW008 → YW001 ]━┥
```

7) ロータリーディップスイッチの設定がＡ（48点入力／16点出力）の場合

R0000～R002F ―――― 入力

R0030～R003F ―――― 出力

```
┝━[ 00000 MOV RW008 ]━[ 00003 MOV RW009 ]━[ XW000 READ RW008 → RW000 ]━┥
┝━[ 00003 MOV RW008 ]━[ 00001 MOV RW009 ]━[ RW003 WRITE RW008 → YW001 ]━┥
```

8) ロータリーディップスイッチの設定がＣ（16点入力／48点出力）の場合

R0000～R000F ―――― 入力

R0010～R003F ―――― 出力

```
┝━[ 00000 MOV RW008 ]━[ 00001 MOV RW009 ]━[ XW000 READ RW008 → RW000 ]━┥
┝━[ 00001 MOV RW008 ]━[ 00003 MOV RW009 ]━[ RW001 WRITE RW008 → YW001 ]━┥
```

5.2 プログラム例

次のようなモジュール構成のとき

スロット№	PU	0	1	2	3
電源	T3 CPU	入力 16点	出力 32点	UW 311 ①	UW 311 ②

a)～d)のような動作をさせる場合を考えます。

a) X0000（スロット0の0番入力）がオンしたらUW311 ①のアドレス64をオンする

b) UW311 ①のアドレス0番の入力がオンしたらY0010（スロット1の0番出力）をオンする

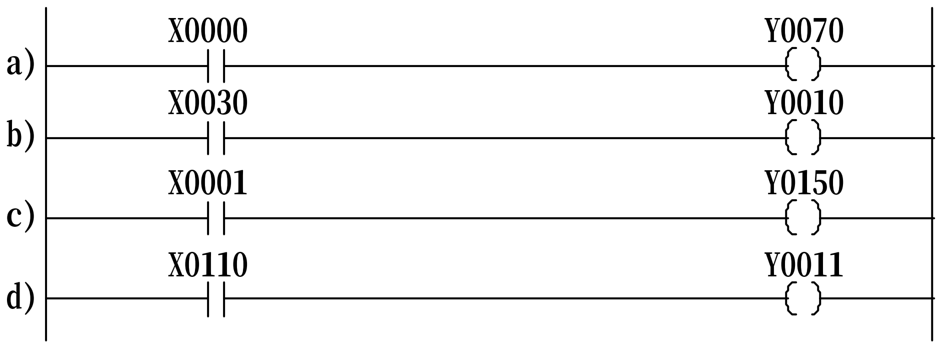
c) X0001（スロット0の1番入力）がオンしたらUW311 ②のアドレス64をオンする

d) UW311 ②のアドレス0番の入力がオンしたらY0011（スロット1の1番出力）をオンする

(1) ＵＷ３１１ ①、②のロータリーディップスイッチの設定が４（64点入力／64点出力）の場合

入出力デバイスまたはレジスタ扱いとなり通常の入出力モジュールと同様にプログラムできます。

スロット	モジュール種別	レジスタ割り付け
ＰＵ	ＣＰＵ	－
0	Ｘ　１Ｗ	ＸW000
1	Ｙ　２Ｗ	ＹW001、ＹW002
2	Ｘ＋Ｙ　８Ｗ	ＸW003～006、ＹW007～010
3	Ｘ＋Ｙ　８Ｗ	ＸW011～014、ＹW015～018



(2) ＵＷ３１１ ①、②のロータリーディップスイッチの設定が５（48点入力／80点出力）の場合

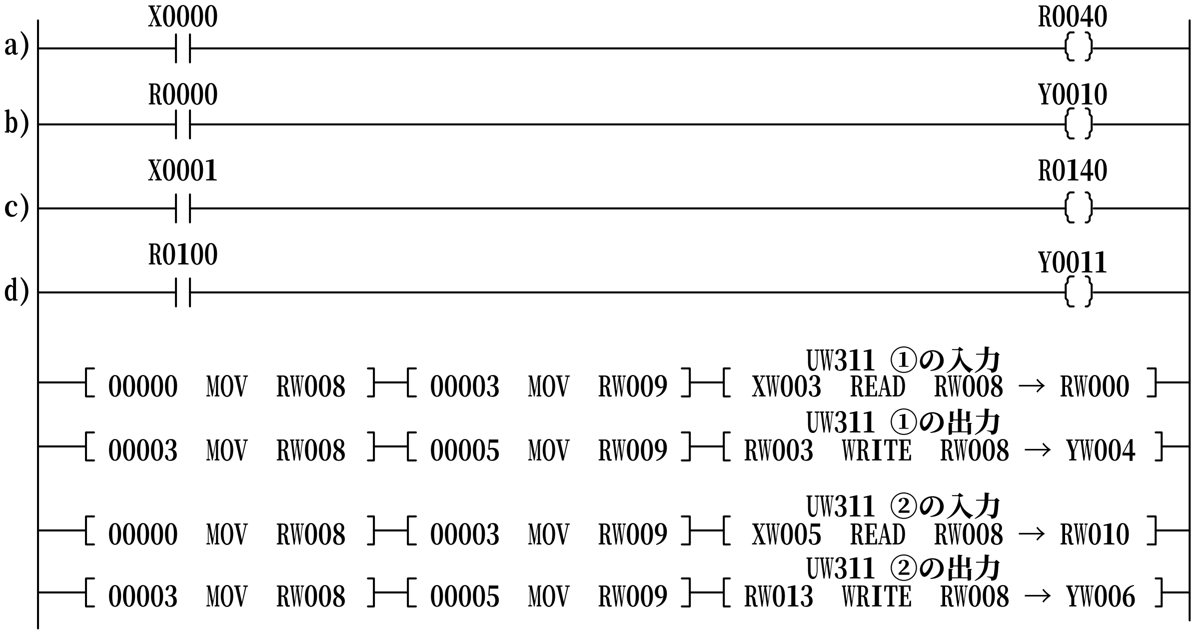
特殊モジュール用データ出力命令または入力命令により入出力を行います。

スロット	モジュール種別	レジスタ割り付け
ＰＵ	ＣＰＵ	－
0	Ｘ　１Ｗ	ＸW000
1	Ｙ　２Ｗ	ＹW001、ＹW002
2	Ｘ＋Ｙ　２Ｗ	ＸW003、ＹW004
3	Ｘ＋Ｙ　２Ｗ	ＸW005、ＹW006

内部リレーの割り付けは

ＵＷ３１１ ①	ＵＷ３１１ ②
R0000～R002F －－－－ 入力	R0100～R012F －－－－ 入力
R0030～R007F －－－－ 出力	R0130～R017F －－－－ 出力

とします。



６　ステータスモニタについて

ＵＷ３１１は１ワードのステータスレジスタを持っています。
このステータスレジスタによりエラーフラグとロータリーディップスイッチの状態を示します。
ステータスレジスタはワードアドレス１６に割り付けられています。
このアドレスは全ての動作モードにおいて共通です。
エラーフラグにより伝送ラインの状態を知ることができます。
このエラー状態はＥＲＲ．ＬＥＤによっても表示されます。

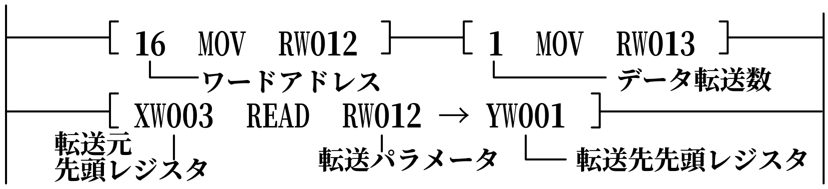
ビット　０　予　備
ビット　１　Ｄ－Ｇ間の短絡
ビット　２　Ｄ－２４Ｖ間が短絡しているか２４Ｖが供給されていない。
ビット　３　終端ユニットＥＤ－１２０が接続されていないか伝送線のどこかで断線している。
ビット　４～６　予　備
ビット　７　エラー発生を示します。ビット１～３のどれかがオンのときこのビットもオンしています。

エラーが発生した場合、ビット７と対応するビットがオンになります。
エラー状態が解除されるとオフになります。保持はしません。

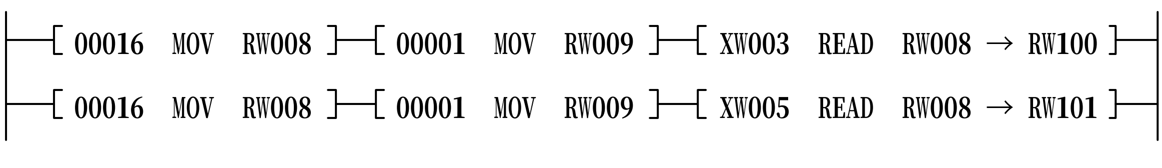
ビット　８　ロータリーディップスイッチの”１”（最下位ビット）
ビット　９　ロータリーディップスイッチの”２”
ビット　Ａ　ロータリーディップスイッチの”４”
ビット　Ｂ　ロータリーディップスイッチの”８”（最上位ビット）
ビット　Ｃ～Ｆ　予　備

ステータスレジスタの読み出しの例

構成は5.2と同じとします。
ロータリーディップスイッチの設定は３（80点入力／48点出力）の場合。
スロット２のUW３１１ ①のステータスを読み出しスロット１の出力ユニットに出力します。



スロット２のＵＷ３１１ ①のステータスを内部レジスタRW100に、スロット３のＵＷ３１１ ②のステータスを内部レジスタRW101に転送します。



7　ＬＥＤ表示について

ＩＮ（緑）　　－　入力モードに設定されている場合に点滅します。
ＯＵＴ（黄）　－　出力モードに設定されている場合に点滅します。
　　入出力両用モードの場合は両方点滅します。
ＥＲＲ．（赤）－ 本システムの伝送ラインに異常がある場合点灯します。

点灯状態	主な原因	エラーフラグ
遅い点滅	Ｄ－Ｇ間短絡。	ビット１
点灯	終端ユニットＥＤ－１２０が接続されていない。 またはＤ、Ｇラインの断線。	ビット３
速い点滅	D－２４V間短絡。または２４Vが供給されていない。	ビット２

　　（速い点滅とはＩＮまたはＯＵＴの点滅と同じ周期の点滅を言います。）
ＰＯＷＥＲ（緑）　－　ＤＣ２４Ｖが供給されると点灯します。

8　モニタ

別売のモニタユニットＲＭ－１２０を接続することによってオン・オフ状態のモニタと強制オン・オフができます。
これによりＣＰＵを介さずに配線チェックができます。またプログラムのデバッグも効率よく行うことが可能です。

9　接続について

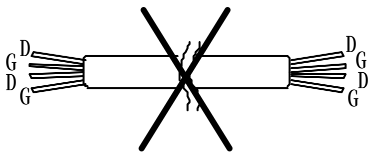
ユニラインポートは脱着の容易なコネクタ端子になっています。

２４Ｖ	ＤＣ２４Ｖの安定化電源を接続してください。
０Ｖ	負荷とターミナルに必要な電流＋0.2A以上の容量のもの
ＦＧ	フレームグランド
２４Ｖ	内部で２４Ｖと接続されています。
０Ｖ	内部で０Ｖと接続されています。
D	伝送線です。
G	伝送線です。

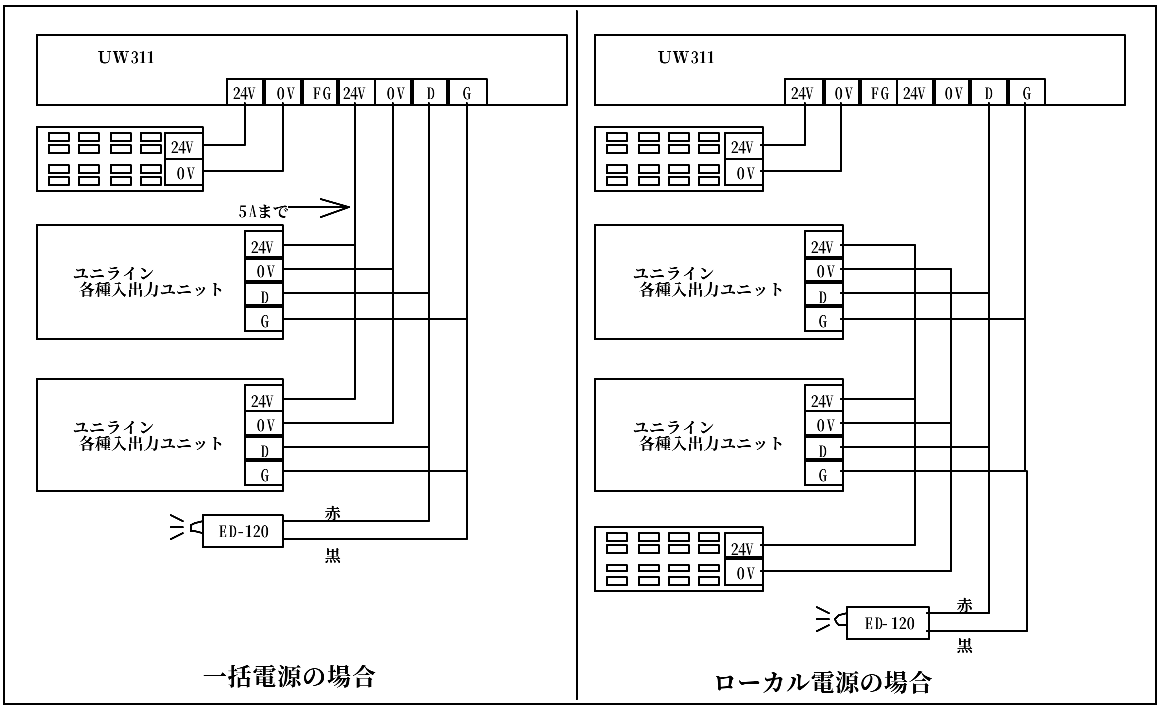
２４Ｖ、０Ｖ、Ｄ、Ｇはそれぞれアドレスユニットまたはターミナルユニットの２４Ｖ、０Ｖ、Ｄ、Ｇと接続してください。（各ユニットの取扱説明書を参照ください。）
伝送線の終端にエンドユニットＥＤ－１２０を接続してください。
ＥＤ－１２０を接続しないとＥＲＲ．が点灯します。但しデータの伝送は可能です。

⚠ 注意

- 多芯ケーブルで複数の伝送線（Ｄ、Ｇ）をまとめて送らないでください。まとめて送るとクロストークにより機器が誤動作します。
  １ポートに１本の伝送線（0.5mm^2以上）としてください。



- ケーブルによる電圧降下にご注意ください。電圧降下により機器が誤動作します。電圧降下が大きい場合はターミナル側で電源を供給してください。（ローカル電源）
- コネクタ端子に接続する線は半田あげしないでください。線がゆるみ接触不良の原因となります。



一括電源の場合ボード内を通じて供給することになるため、ターミナルに供給する24V電源はセンサや電磁弁など負荷用を含め**5A**までとしてください。

10 伝送所要時間について

入力の場合

　連続して２回同じデータが続かないと入力エリアのデータを更新しないため（二重照合）、最短で約１リフレッシュタイム、最長で２リフレッシュタイムの伝送時間を必要とします。

２リフレッシュタイム以下の信号の場合にはタイミングによっては捉えられない場合があります。

また、１リフレッシュタイムより短い入力信号は捉えられませんのでご注意ください。

約１リフレッシュタイム

最短時　－－＋－◎－－－－－－－－－－＋－◎－－－－－－－－－－＋－－－

▲　▲

センサターミナルの入力変化　入力データ更新

２リフレッシュタイム

最長時　－－＋－◎－－－－－－－－－－＋－◎－－－－－－－－－－＋－◎－

▲　▲

センサターミナルの入力変化　入力データ更新

出力の場合

ターミナル側で二重照合を行っているので入力の場合と同様に最長２リフレッシュタイムの伝送時間を必要とします。

11 トラブルシューティング

まず次のことを確認してください。

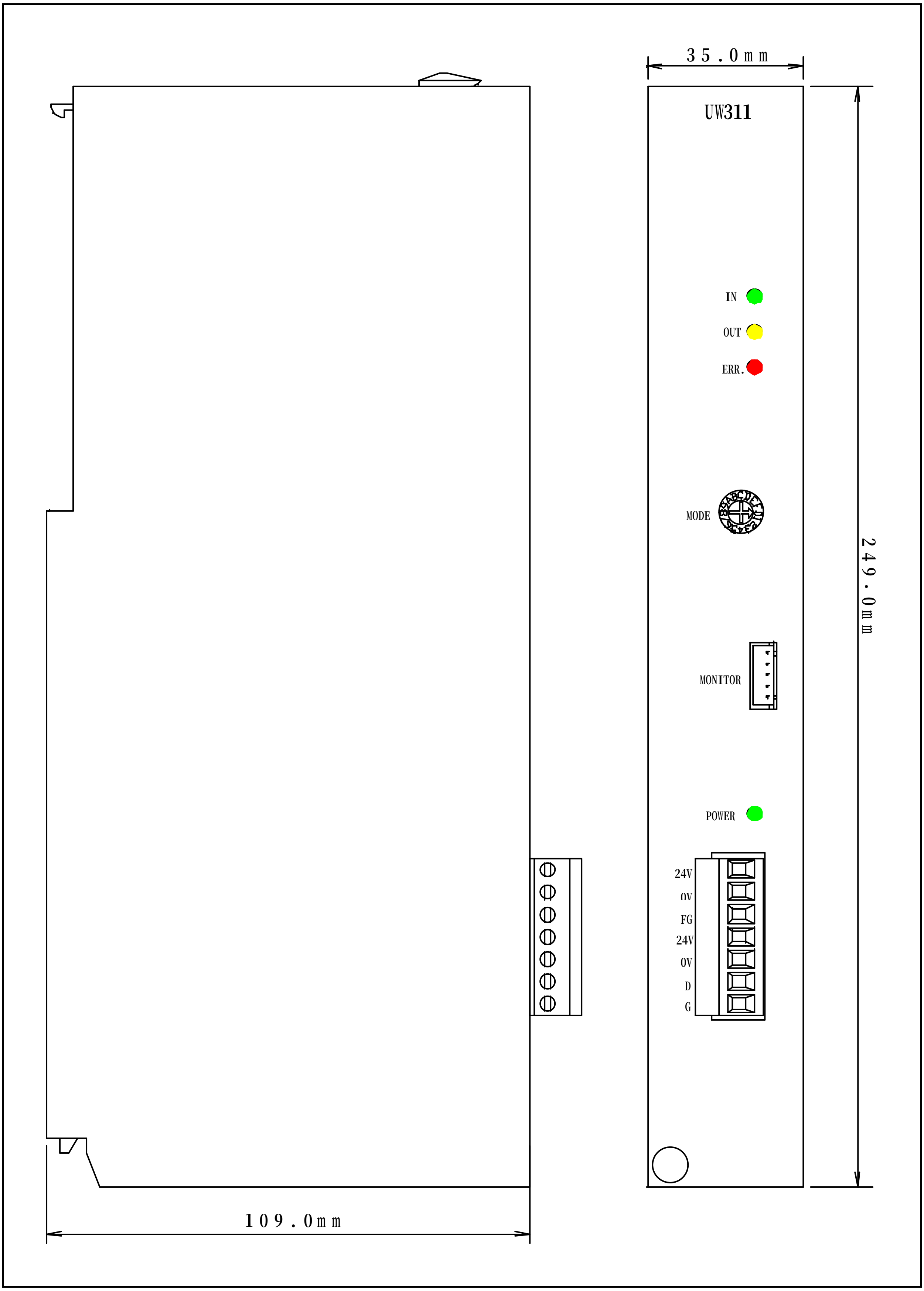
(1)　すべての機器のPOWERランプが点灯していること。
(2)　すべての機器のSENDランプが点滅していること。
(3)　各機器の電源電圧が21.6～27.6Vの範囲にあること。
(4)　配線、接続が確実であること。
(5)　アドレス設定が正確であること、重複していないこと。

あわせて弊社作成のテクニカルマニュアルをご覧ください。

症状別チェックリスト

症状	チェック項目
データの入出力ができない	**ＵＷ３１１側** ボードで設定したアドレスとソフトウェアで指定するアドレスが一致しているか 入出力の設定が正しいか **ターミナル側** ターミナルに電源が供給されているか ターミナルのアドレスは正しく設定されているか 入力ターミナルと出力ターミナルが同じアドレスに設定されていないか
ERR.LED(赤)が点灯	D-Gラインが断線していないか ED-120が接続されているか 端子台のビスがゆるんでいないか
ERR.LED(赤)がゆっくり点滅	D-Gラインが短絡していないか D-Gラインを逆接していないか
ERR.LED(赤)が速く点滅	UW311に供給しているDC24V電源の電圧が正常か Dと24Vが接触していないか

12 外形図


35.0mm
UW311
IN
OUT
ERR.
MODE
MONITOR
POWER
24V
0V
FG
24V
0V
D
G
249.0mm
109.0mm

13 ＵＷ３１１取扱説明書変更履歴

バージョン	日　付	変更内容
Ｖ－１．１	1994. 1.27	１０ページのエラーフラグの項。
		誤　→　正
		ビット2　→　ビット3
		ビット3　→　ビット2
		１２ページのご注意の項。
		誤　→　正
		UV-250　→　UW311
Ｖ－１．２	1994. 9.22	全面改訂
EUW311-800D (V-1.3)	1996.11.21	Ｔ３Ｈ対応を追加 ページを表紙の次からつける 表紙に注意を追加 各所の注意書きを修正 トラブルシューティングの項　SW2･･･の記述削除 ボードの重複･･･の記述削除
EUW311-800E (V-1.4)	2004.7.8	名称変更

NKE株式会社

本　社　工　場	〒617 京都府長岡京市馬場図所27	TEL 075-955-0071（代）	FAX 075-955-1063
東 京 営 業 所	〒110 東京都台東区台東2丁目12-2(不二DICビル)	TEL 03-3833-5330（代）	FAX 03-3833-5350
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区伊勢山2丁目13-22(ITOHビル)	TEL 052-322-3481（代）	FAX 052-322-3483
大 阪 営 業 所	〒550 大阪市西区新町1丁目2-13(新町ビル)	TEL 06-538-7136（代）	FAX 06-538-7138
京 都 営 業 所	〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町336-1	TEL 075-924-3293 (代)	FAX 075-924-3290
伏　見　工　場	〒612 京都市伏見区羽東師菱川町336-1	TEL 075-931-2731（代）	FAX 075-934-8746